



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月7日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 丸栄
コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 京極 修二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	11,279	△7.7	22	△88.1	△51	—	△126	—
26年2月期第2四半期	12,220	△3.4	186	74.5	140	274.7	△5	—

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 △122百万円 (—%) 26年2月期第2四半期 △1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△0.97	—
26年2月期第2四半期	△0.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	45,607	20,271	44.4
26年2月期	45,814	20,394	44.5

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 20,271百万円 26年2月期 20,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	△4.4	180	△66.3	30	△92.0	△100	—	△0.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	130,368,887 株	26年2月期	130,368,887 株
27年2月期2Q	517,800 株	26年2月期	512,951 株
27年2月期2Q	129,853,202 株	26年2月期2Q	129,876,897 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景に、景気は緩やかな回復基調を示しておりましたが、消費税率引き上げに伴う景気停滞などもあり、先行き不透明な状況が継続いたしました。

こうした中、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により、3月は宝飾品を中心とする高額品をはじめ、多くの商材の販売が好調に推移し、前年実績を大きく上回る結果となりました。しかし、増税後の4月以降は駆け込み需要の反動減や夏場の天候不順の影響もあり、都市部ではやや持ち直しの動きが見られますものの、全体では売上高が伸び悩む状況となりました。

このような状況下、当社は業績の向上と経営の効率化を主眼に、継続的な売場体制の整備や販促イベントの充実など、営業諸施策を鋭意推し進める一方、引き続きコスト構造の見直しに取り組むなど、経営基盤の強化に努めてまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、112億7千9百万円（前年同期比92.3%）となり、営業利益は2千2百万円（前年同期比11.9%）、経常損失は5千1百万円（前年同期は経常利益1億4千万円）となりました。また、固定資産除却損等7千1百万円を特別損失として計上いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純損失は1億2千6百万円（前年同期は四半期純損失5百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①百貨店業

百貨店業におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要に対応すべく、「宝石&アクセサリ消費増税前の現品売りつくし処分」などの高額商品を中心とする販売催事を積極的に開催する一方、駆け込み需要の反動減を最小限に抑えるため、「初夏の北海道と青森・函館の物産と観光展」といった新規の物産展の開催や「全館お楽しみ抽選会」などの販促イベントを多彩に展開し、一段の集客力の向上に取り組んでまいりました。併せて、来店顧客の増加を図るため、ハウスカード強化を重点課題とし、新規口座の獲得と購入リピート率の向上を目指し、情報発信力の強化に努めてまいりました。

しかしながら、駆け込み需要の反動減を十分に補うことができず、百貨店業の売上高は99億5千7百万円（前年同期比91.6%）となりました。利益面につきましても、営業損失6千3百万円（前年同期は営業利益8千2百万円）という結果となりました。

②不動産賃貸業

不動産賃貸業におきましては、空室率の改善に取り組みましたが、売上高は8億4千5百万円（前年同期比99.8%）、営業利益は2億7千4百万円（前年同期比93.9%）となりました。

③その他

その他の事業におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高は4億7千6百万円（前年同期比94.2%）、営業損失は2千6百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億6百万円減少し、456億7百万円となりました。これは流動資産が1億5千万円増加し、固定資産が3億5千3百万円減少したことなどによります。流動資産の増加については、現金及び預金が1億4千5百万円増加したことなどにより、固定資産の減少については、減価償却等により有形固定資産が3億2千2百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ8千3百万円減少し、253億3千6百万円となりました。これは流動負債が3億2千9百万円増加し、固定負債が4億1千3百万円減少したことによります。流動負債の増加については、短期借入金が増加したことなどによります。固定負債の減少については、長期借入金2億9千2百万円減少し、社債が1億5百万

円減少したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億2千3百万円減少し、202億7千1百万円となりました。これは主に四半期純損失1億2千6百万円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、平成26年10月3日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,233	1,378
受取手形及び売掛金	432	445
商品	398	365
その他	602	629
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	2,660	2,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,244	7,936
土地	30,433	30,433
その他(純額)	276	261
有形固定資産合計	38,954	38,632
無形固定資産		
のれん	1,258	1,217
その他	82	75
無形固定資産合計	1,340	1,292
投資その他の資産		
投資有価証券	2,486	2,515
その他	356	344
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,842	2,859
固定資産合計	43,138	42,784
繰延資産	15	11
資産合計	45,814	45,607
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,600	1,522
短期借入金	1,800	2,200
1年内返済予定の長期借入金	3,516	3,732
1年内償還予定の社債	340	260
未使用商品券等引当金	281	271
その他の引当金	43	41
その他	2,534	2,417
流動負債合計	10,116	10,445
固定負債		
社債	375	270
長期借入金	7,542	7,250
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
退職給付引当金	327	347
その他	3,059	3,024
固定負債合計	15,304	14,890
負債合計	25,420	25,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	936	810
自己株式	△113	△114
株主資本合計	13,051	12,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	18
土地再評価差額金	7,328	7,328
その他の包括利益累計額合計	7,343	7,347
純資産合計	20,394	20,271
負債純資産合計	45,814	45,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	12,220	11,279
売上原価	9,702	8,906
売上総利益	2,518	2,373
販売費及び一般管理費	2,332	2,351
営業利益	186	22
営業外収益		
受取利息	2	2
持分法による投資利益	27	27
売場改装協力金	87	24
その他	19	27
営業外収益合計	136	81
営業外費用		
支払利息	120	106
その他	61	48
営業外費用合計	181	155
経常利益又は経常損失(△)	140	△51
特別損失		
固定資産除却損	141	69
その他	-	1
特別損失合計	141	71
税金等調整前四半期純損失(△)	△0	△122
法人税等	4	3
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5	△126
四半期純損失(△)	△5	△126

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5	△126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	3	3
四半期包括利益	△1	△122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1	△122
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△0	△122
減価償却費	384	370
のれん償却額	41	41
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	120	106
持分法による投資損益(△は益)	△27	△27
売上債権の増減額(△は増加)	110	△12
たな卸資産の増減額(△は増加)	34	31
仕入債務の増減額(△は減少)	△29	△77
その他	△5	3
小計	620	305
利息及び配当金の受取額	14	13
利息の支払額	△109	△99
法人税等の還付額	-	3
法人税等の支払額	△13	△7
営業活動によるキャッシュ・フロー	512	217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△146	△96
有形固定資産の除却による支出	△34	△69
貸付金の回収による収入	383	0
その他	△5	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	197	△185
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△900	400
長期借入れによる収入	2,400	1,800
長期借入金の返済による支出	△1,926	△1,877
社債の償還による支出	△235	△185
その他	△25	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△687	112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22	144
現金及び現金同等物の期首残高	1,264	1,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,286	1,364

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,867	847	11,714	505	12,220	—	12,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	73	76	373	449	△449	—
計	10,869	921	11,791	879	12,670	△449	12,220
セグメント利益又は損失(△)	82	292	374	△9	364	△178	186

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△178百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,957	845	10,803	476	11,279	—	11,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	72	77	265	343	△343	—
計	9,963	917	10,881	742	11,623	△343	11,279
セグメント利益又は損失(△)	△63	274	210	△26	184	△162	22

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△162百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△165百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。